

IP アドレス自動設定ソフトウェア

2006年11月
ワゴジャパン株式会社

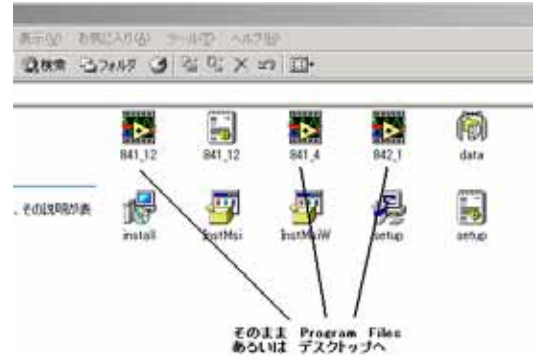
1. インストール

CD-ROM 中の setup アイコンを選択して実行ドライブとソフトをインストールしてください。
実行ソフト 841_341_12.exe は C:\Program Files\WAGO Software\jp_boot にコピーされます。

2. CD-ROM 中の 841_341_4.exe、842_342_4.exe

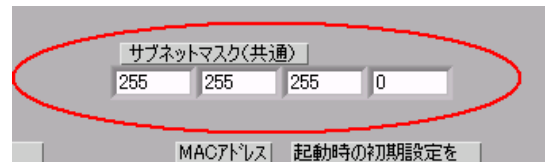
ファイルを C:\Program Files\WAGO Software\jp_boot にコピーしてください。実行ドライブをインストール後はそのままデスクトップにコピーしても動作します。各々の内容は以下のとおりです。

841_341_12.exe	750-841/341 専用、12 ノード用
841_341_4.exe	750-841/341 専用、4 ノード用
842_342_4.exe	750-842/342 専用、4 ノード用

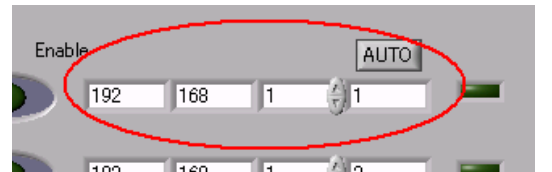


2. 実行アイコンをクリックするとそのまま実行ファイルが立ち上がります。

サブネットマスクは共通です。最初に入力しておいてください。(デフォルトは 255.255.255.0)



設定したい IP アドレスを設定します。最初の 1 行分を入力して AUTO ボタンを押すと以降の IP を自動的に設定します。



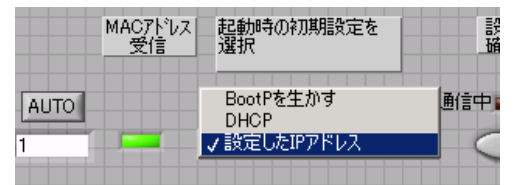
I/O システムの電源を投入します。このとき受信した MAC アドレスは 1 ~ 1 2 まで自動的に順番に自動的に格納されます。

アドレス書き込みスイッチを Enable 側にしておくと自動的に設定した IP アドレスが書き込まれます。IP アドレスがバスカプラに書き込まれると MS ランプが点滅 点灯に変わります。



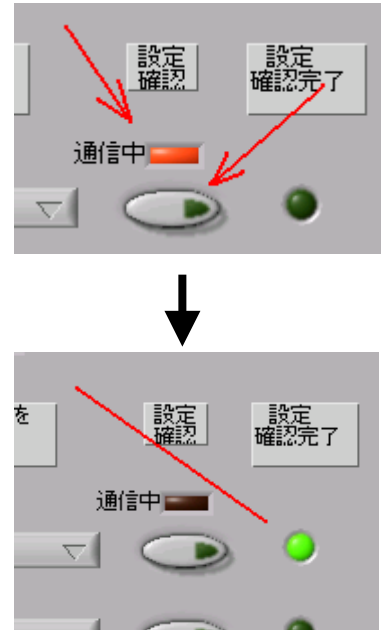
MAC アドレスを受信したタイミングで MAC アドレス受信ランプが毎回点灯します。(このタイミングで IP アドレスを設定しています。)

再起動時に設定した IP アドレスを生かしたい場合は「設定したい IP アドレス」(デフォルト)を選択します。



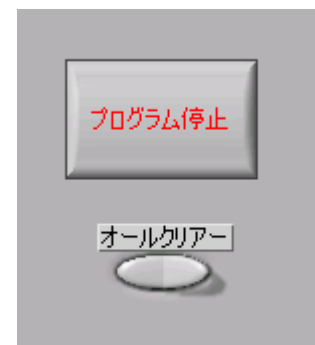
IP アドレスが設定されたかどうかを確認します。設定確認のボタンを押すと、ノードと設定確認のための通信を行って設定した IP アドレス確認と再起動時の初期設定をセッします。

その後設定確認完了ランプが点灯すればすべての作業が完了です。ランプが点灯しないノードについてはそのノードだけ電源を再投入して再度設定確認のボタンを押してください。



< 使用上の注意 >

- 1) 複数のノードを接続して同時に電源を起動した場合、すべての IP アドレスが設定されないことがあります。設定確認ボタンを押して完了ランプが点灯していないノードは電源を再投入してください。
- 3) 受信した MAC アドレスの情報や完了 LED の点灯などを初期状態に戻したい場合は オールクリアー ボタンを押してください。そのまま作業を継続できます。
- 4) プログラム全体を停止したい場合には プログラム停止 ボタンを押してください。
- 5) プログラムを再度スタートしたいときは左上の矢印をクリックしてください。



以上